

地球温暖化対策報告書（その1）

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあっては名称 及び代表者の氏名)	公立大学法人 首都大学東京 理事長 島田 晴雄
事業者番号	A 0 9 6 3

2 報告する事業所等の全体の状況（平成28年度）

条例第8条の23第1項 報告事業所数	0 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	0 kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	0 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	0 kl

3 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	1
----------	---

4 事業者としての取組

取組方針	①南大沢キャンパスの取組…大規模事業所となる南大沢キャンパスにおいては、第2計画期間(平成27～31年度)において5年平均17%以上のCO2削減義務を達成できるよう年度毎に目標を定め取り組む。 ②各キャンパスの取組…中小規模事業所となる各キャンパスにおいては、省エネ法における中長期期間(平成27～31年度)内において、エネルギー消費原単位年平均1%以上の低減義務を達成できるよう年度毎に目標を定め取り組む。 ③その他…大学全体(教員、職員、学生)が一体となって取り組む。																																
組織体制の整備の状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">重点対策</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">その他対策</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">対策番号</th> <th style="text-align: center;">対策名</th> <th style="text-align: center;">対策番号</th> <th style="text-align: center;">対策名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">A101</td> <td>地球温暖化対策の方針等の設定</td> <td style="text-align: center;">A106</td> <td>本社等による支店の支援</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A102</td> <td>温暖化対策推進担当の配置</td> <td style="text-align: center;">A107</td> <td>排出状況の整理・分析・提供</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A103</td> <td>具体的な取組目標と内容の設定</td> <td style="text-align: center;">A108</td> <td>組織横断的な推進体制の整備</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">A111</td> <td>全従業員に温暖化対策情報の提供</td> <td style="text-align: center;">A113</td> <td>推進担当者の知識向上・内部還元</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>	重点対策		その他対策		対策番号	対策名	対策番号	対策名	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A106	本社等による支店の支援	A102	温暖化対策推進担当の配置	A107	排出状況の整理・分析・提供	A103	具体的な取組目標と内容の設定	A108	組織横断的な推進体制の整備	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A113	推進担当者の知識向上・内部還元								
重点対策		その他対策																															
対策番号	対策名	対策番号	対策名																														
A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A106	本社等による支店の支援																														
A102	温暖化対策推進担当の配置	A107	排出状況の整理・分析・提供																														
A103	具体的な取組目標と内容の設定	A108	組織横断的な推進体制の整備																														
A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A113	推進担当者の知識向上・内部還元																														

5 特記事項

<ul style="list-style-type: none"> ・夏の省エネ・節電対策では、平成22年の使用最大電力の値に対して11%削減した値を使用電力の上限として以下①～③の取組等を行った。 ①冷房中の室温は28℃を徹底する。 ②照明は業務上特に必要な照度を確保しつつ大幅に削減し、使用していない個所の消灯を徹底する。 ③席を長時間外す際にはパソコンをこまめにシャットダウンするほか、節電ソフト等によりディスプレイの輝度を落とし、またスリープモード等を活用する。 ・施設については、施設整備計画に基づき計画的に順次設備更新しており、それにより、温室効果ガスの削減を図っている。 ・温暖化対策推進体制は、法人に委員会、各キャンパスに部会を設置して対策に取り組んでいる。 ・省エネ法に基づきエネルギー管理基準を整備し、活用している。 <p>【実績年度目標】 省エネ法に基づく原油換算エネルギー使用量前年度比1%減</p>

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	日野キャンパス										
事業所番号	A	0	9	6	3	-	0	0	0	1	
事業所等の所在地	〒	1	9	1	-	0	0	6	5	区市町村名	日野市
	町名番地以下	旭が丘六丁目6番地									
事業所等の延床面積	33,441.97		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満				
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店		<input checked="" type="checkbox"/> 非該当		
前年度の報告内容からの変更点	旧実験棟跡地整備工事に伴う、ゴミステーション、アーケード等による延床面積の増加										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	1,185	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	2,297	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	9	t
総計(④=②+③)	④	2,306	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	68.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	197,373.0	45.00	8,881.8	0.014	442.9	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他(A重油)	<input type="checkbox"/>	L	260.0	39.10	10.2	0.019	0.7	
	その他(軽油)	<input type="checkbox"/>	L	4.0	37.70	0.2	0.019	0.0	
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	<input type="checkbox"/>	昼間(8時~22時)	kWh	2,707,833.0	9.97	26,997.1	0.489	1,324.1
	夜間(22時~翌日8時)		kWh	1,084,165.0	9.28	10,061.1	0.489	530.2	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		<input type="checkbox"/>	kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合計						⑬	45,950.2	⑭	2,297.9
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	13,903.0			0.251	3.5	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	13,166.0			0.439	5.8	
合計								⑮	9.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計	
			A207	排出状況の整理・分析・提供	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人体感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・夏の省エネ・節電対策では、平成22年の使用最大電力等の値に対して10%削減した値を使用電力の上限として以下のとして以下①～④の取組等を行った。
 ①空調の抑制(中央監視による設定温度制御等)
 ②新実験棟共用部分の空調一部停止
 ③節電ポスターの掲示
 ④エネルギー使用量の現状周知及び省エネ協力依頼
 【実績年度目標】
 省エネ法に基づく原油換算エネルギー使用量前年度比1%減

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	荒川キャンパス										
事業所番号	A	0	9	6	3	-	0	0	0	2	
事業所等の所在地	〒	1	1	6	-	8	5	5	1	区市町村名	荒川区
	町名番地下	東尾久7-2-10									
事業所等の延床面積	29,635.27		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満				
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当				
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	586	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,133 t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	6 t
	総計(④=②+③)	④	1,139 t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	38.2 kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	82,024.5	45.00	3,691.1	0.014	184.1	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	<input type="checkbox"/>	昼間(8時~22時)	kWh	1,484,501.0	9.97	14,800.5	0.489	725.9
	夜間(22時~翌日8時)		kWh	457,903.0	9.28	4,249.3	0.489	223.9	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合計						⑬	22,740.9	⑭	1,133.9
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	8,115.0			0.251	2.0	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	10,565.0			0.439	4.6	
合計								⑮	6.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑧とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計	
			A207	排出状況の整理・分析・提供	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

・夏の省エネ・節電対策では、平成22年の使用最大電力等の値に対して10%削減した値を使用電力の上限として以下のとして以下①～④の取組等を行った。

①空調を効率的に運転
 ②室温管理の適正化等のポスター掲示等
 ③増築棟講義室等の照明のLED化を行うとともに、人感センサーを設置し、省エネ化を実現
 ④体育館棟改修工事において、省エネ性の高いGHP(ガスヒートポンプ)エアコンを採用

【実績年度目標】
 省エネ法に基づく原油換算エネルギー使用量前年度比1%減

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	晴海キャンパス											
事業所番号	A	0	9	6	3	-	0	0	0	3		
事業所等の所在地	〒	1	0	4	-	0	0	5	3	区市町村名	中央区	
	町名番地下以	晴海1-2-2										
事業所等の延床面積	9,869.02		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満					
所有形態	<input type="checkbox"/> 自己所有 <input checked="" type="checkbox"/> 他者所有											
報告範囲	<input type="checkbox"/> 建物の全部 <input checked="" type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食)											
	<input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他											
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	1	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	157	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	305	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	306	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	30.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧)×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	35,817.9	45.00	1,611.8	0.014	80.4	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	459,396.0	9.76	4,483.7	0.489	224.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合計						⑬	6,095.5	⑭	305.0
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	2,478.0			0.251	0.6	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	3,135.0			0.439	1.4	
合計								⑮	2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A501	ビル所有者の対策や要請に協力	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計	
			A207	排出状況の整理・分析・提供	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

建物の一部使用のため、建物所有者の要請に従い電力使用抑制策を行う。

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川シーサイド・高専品川キャンパス										
事業所番号	A	0	9	6	3	-	0	0	0	4	
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0	0	1	1	区市町村名	品川区
	町名番地以下	東大井1-10-40									
事業所等の延床面積	34,139.54		m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満				
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有										
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	3	連鎖化事業区分	<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	600	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,160	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	9	t
総計(④=②+③)	④	1,169	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	33.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	37,383.4	45.00	1,682.3	0.014	83.9	
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0					
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	<input type="checkbox"/>	昼間(8時~22時)	kWh	1,691,810.0	9.97	16,867.3	0.489	827.3
	夜間(22時~翌日8時)		kWh	508,869.0	9.28	4,722.3	0.489	248.8	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	
合計						⑫ 23,271.9		⑫ 1,160.0	
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	10,861.0			0.251	2.7	
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	15,134.0			0.439	6.6	
合計								⑬ 9.4	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策			
	対策番号	対策名	対策番号	対策名		
組織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計		
			A207	排出状況の整理・分析・提供		
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握		
	B102	関連他者からの情報を加えて把握				
	B105	エネルギー使用量の前年度比較				
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整	
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯	
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB09	空室・不在時等の空調停止	
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検	
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
		D104	空調フィルターの清掃・点検			
		D106	ボイラ等の定期点検の実施			
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用	
		E114	高効率パッケージの採用	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御	

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

・夏の省エネ・節電対策では、平成22年の使用最大電力等の値に対して10%削減した値を使用電力の上限として以下のとして以下①～③の取組等を行った。

①教職員への周知、ピーク時の各室見回り等による夏期節電対策の実施

②使用電力上限値の順守

③次年度の講義室PC機器更新にあたり、低消費電力モデルの採用による省電力化を一部導入

【実績年度目標】

省エネ法に基づく原油換算エネルギー使用量前年度比1%減

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	高専荒川キャンパス									
事業所番号	A	0	9	6	3	-	0	0	0	5
事業所等の所在地	〒 1 1 6 - 0 0 0 3 区市町村名 荒川区									
	町名番地以下	南千住8-17-1								
事業所等の延床面積	30,819.55 m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			<input checked="" type="checkbox"/> 1年度分 <input type="checkbox"/> 1年未満				
所有形態	<input checked="" type="checkbox"/> 自己所有 <input type="checkbox"/> 他者所有									
報告範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 建物の全部 <input type="checkbox"/> 建物の一部(テナント) <input type="checkbox"/> 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	<input type="checkbox"/> 事務所 <input type="checkbox"/> 商業施設(物販) <input type="checkbox"/> 商業施設(飲食) <input type="checkbox"/> 工場 <input type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	1	6	3	連鎖化事業区分		<input type="checkbox"/> 直営店 <input type="checkbox"/> 加盟店		<input checked="" type="checkbox"/> 非該当	
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成28年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	①	494	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	955	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	3	t
総計(④=②+③)	④	958	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	30.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料及び熱	都市ガス	<input type="checkbox"/>	Nm ³	43,876.5	45.00	1,974.4	0.014	98.5
	その他(LPG)	<input type="checkbox"/>	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	<input type="checkbox"/>	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0				
	その他()	<input type="checkbox"/>		0.0				
電気	一般送電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時~22時)	<input type="checkbox"/>	kWh	1,333,386.0	9.97	13,293.9	0.489	652.0
	夜間(22時~翌日8時)	<input type="checkbox"/>	kWh	419,768.0	9.28	3,895.4	0.489	205.3
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	<input type="checkbox"/>	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合計					⑬	19,163.7	⑭	955.8
その他	水道及び工業用水道	<input type="checkbox"/>	m ³	4,685.0			0.251	1.2
	公共下水道	<input type="checkbox"/>	m ³	5,276.0			0.439	2.3
合計							⑮	3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑩/1,000)×⑨とする。

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

	重点対策		その他対策		
	対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計	
			A207	排出状況の整理・分析・提供	
エネルギー等の使用状況の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
	B102	関連他者からの情報を加えて把握			
	B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	CB01	空室・不在時等のこまめな消灯
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	CB02	照明スイッチに点灯範囲を表示
				CB06	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
				CB09	空室・不在時等の空調停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
		E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載		

6 特記事項

・夏の省エネ・節電対策では、平成22年の使用最大電力等の値に対して10%削減した値を使用電力の上限として以下のとして以下①～③の取組等を行った。
 ①電力使用抑制を呼びかけるポスターを教職員会議で周知・校内デジタルサイネージに掲出
 ②本館各階エアークハンドリングユニットのフィルターを交換し空調の高効率化を実施
 ③全館蛍光灯、水銀灯のLED化、並びに廊下等の人感センサー化工事設計
 【実績年度目標】
 省エネ法に基づく原油換算エネルギー使用量前年度比1%減